

9月例会 講演「社員から見た経営者」

9月29日 於 食事苑京阪

(株)オージーファイン 小川保弘

9月29日(月)に食事苑京阪にて、9月例会を開催しました。今回の例会では、経営環境委員会による第2回目の企画として、株式会社最上インクス 取締役 鈴木達也様を講師に招き、「社員から見た経営者」と題して講演を行っていただきました。

講演では、18歳で入社してから取締役となった現在まで、仕事を通して鈴木社長を見ながらどのような感じてきたか、またこの数年のうちに交代することになる新社長を将来どう見るようになるだろうかという話や、社員は日々の仕事の中で経営者に対してどのような思いを持っているのかという話をプロジェクターを使いながら話されました。

また、一流の経営者になるためにはどんな能力や知識、感性を磨く必要があり、どのような考え方や行動をするべきかという話をされました。特に、社員は経営者に対して自分の人生や幸せを託すことができるのかを見ているので、その思いに応えられる経営者になってほしいということを強調されました。また、社員の立場で機青連に参加している会員に向けての助言もいただきました。

講師の鈴木様は、常に経営者と社員の両方の視点から話をされたので、どの話も具体的で説得力があり、また、次期社長に就く鈴木専務が見る中での講演ということもあって緊張感のある雰囲気での講演になりました。講演が終了した後の質疑では、会場から藤塚さん、山下さん(協和精工株)、土肥さん、飛永元代表、辻前代表が感想や質問を発表しました。

食事ははさみ、後半は席を6つのグループに分けディスカッションを行いました。各グループでは前半の講演を聴いて感じたことや、勉強になったこと、また、自分自身や自社での課題について議論をし、最後にそれぞれのグループから代表として、竹内さん、山下さん、竹田さん、有田さん、義永さん、山本勇輝さんがディスカッションの内容を発表しました。

今回の例会は、経営者だからこそできること、経営者だからこそしなければならないことを改めて考えさせられ、参加者にとってたいへんためになる内容でした。鈴木達也様、どうもありがとうございました。

